

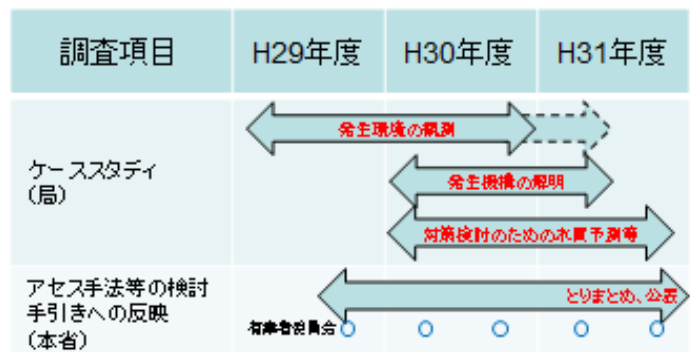
環境影響評価指針調査（水環境に係る予測手法等検討調査）（H29～31）

調査概要

「ダム事業における環境影響評価に係る主務省令」（平成11年6月12日制定）に基づいて行う土地改良事業の環境影響評価について、造成後のダムで当初予測し得なかった水環境の変化（植物プランクトンの異常繁殖）が発生した際の、環境保全措置及びそれによって生じる水環境の予測手法等の具体を検討するため、実際に植物プランクトンの異常繁殖が発生しているダムをケーススタディとして、モニタリング、水質予測手法及び環境保全措置の検討を行い、それら結果をアセスマニュアル（主務省令の解説）を補完する手引き等へ反映する。

○ケーススタディ実施対象ダム

相川ダム（岩手県）
上津ダム（奈良県）
藤ノ平ダム（佐賀県）



調査内容

<地方農政局段階>…ケーススタディの実施

- ・ 発生環境要素の観測（水温、水質、底質、植物プランクトン等）
- ・ 発生要因、メカニズムの解明
- ・ 水質モデルの作成、水質モデルを用いた各種対策の効果検証

<本省段階>

- ・ ケーススタディの結果を踏まえ、対策検討のための予測手法、環境保全措置等を検討。
- ・ アセスマニュアル（主務省令の解説）を補完する参考図書の作成

調査成果の活用

- ・ アセス実施に際して、不確実であった環境変化を未然に防止し、円滑な事業推進を図る。
- ・ ダム特性、モニタリング手法、対策メニュー等、今後の管理や対策検討において活用可能な知見等を地元へ還元

九州農政局における調査実施地区

- ・ 調査対象ダム：藤ノ平ダム
- ・ 地区名：国営かんがい排水事業上場地区
- ・ 調査検討会の構成：
 - 唐津農林事務所、唐津市役所、玄海町役場
 - 上場土地改良区、佐賀大学
 - 九州農政局農村環境課



藤ノ平ダム